

第2次

概要版

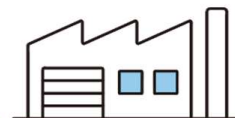
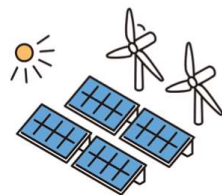
石巻市総合計画 基本計画(後期)

(令和8年度 ~ 令和12年度)



● I（石巻市が目指す将来像）	1
● II（計画策定の背景）	2
● III（市民満足度調査からみる市民が求めているもの）	3
● IV（重要施策）	4
● V（基本計画（後期）における施策体系）	5
● VI（石巻市が目指す将来像を実現するためには）	6
1 地域コミュニティ	7
2 生活基盤整備	9
3 健康福祉医療	11
4 産業振興	13
5 教育文化	15
6 行財政	17

● VII（人口減少の進行に伴う人口フレームの見直し）	19
● VIII（人口戦略の推進）	20
人口戦略	21
● IX（地区別将来展望について）	23
● X（まとめ）	24



ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち

まちの主役は市民「ひとりひとり」です。

多種多様な人々が持っている「多彩」な“力・個性”が輝くことはもちろん、個々の輝きが相まって「煌めく」ことにより、

“まちに活力があふれ、素晴らしいまちになる”

という思いを込めています。

また、本市の豊かで「多彩」な資源が、本市に関わっている全ての人々に活用され「煌めく」ことにより、他のまちには無い、

“多くの魅力を持った活力あふれるまち”

になるという思いを込めています。

考え方や個性も違う個人が、「共に歩む」ことで、

“誰一人取り残されることのない、安全で安心な共生社会”

が実現されているまちになってほしいという思いを込めて、第2次石巻市総合計画の将来像として掲げています。



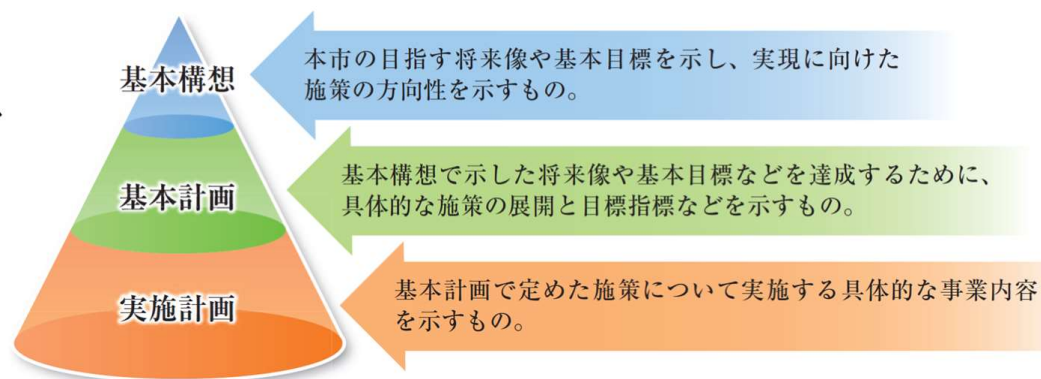
石巻市長 齋藤 正美

第2次石巻市総合計画は、市政運営の指針となる最上位計画として、将来にわたり持続可能な市政運営を行っていくために、令和3年度を初年度として令和12年度までの10年間の計画期間として策定しました。産業や経済、さらには社会基盤が大きく転換する局面を迎え、こうした**時代の潮流**を冷静に見極め、的確に対応することで、未来への確かな道筋を示していくことが求められています。

【計画の構成】

第2次石巻市総合計画は、10年間の基本構想、5年間の基本計画、3年間の実施計画の3層で構成されています。

今回策定した後期基本計画は、令和8年度から令和12年度までの5か年の本市の具体的な施策展開や目標指標を示すものです。



時代の潮流

- ✓ 社会情勢や国際情勢の変化
- ✓ DX(デジタル・トランスフォーメーション)の加速
- ✓ GX(グリーン・トランスフォーメーション)の取組
- ✓ 多様性と包摂性への対応
- ✓ 防災・減災とレジリエンス※強化
- ✓ 人口減少の進行



施策のブラッシュアップを進めるためには、行政自らが変化に対応できる体制を整え、速やかに実行に移せるスピード感が大切です。
行政だけではなく、市民の声も広く取り入れながら、共に方向性を考えることにより効果的かつ適切な施策の展開へつなげていきます。



※:被害を最小限に留め、被害からいち早く立ち直り元の生活に戻ること。都市政策においては速やかに復興するまちづくりを指します。

市民の市政に対する満足度及び重要度を把握し、今後のまちづくりの参考とするため、全市民を対象とした「**市民満足度調査**」を令和6年度に実施しました。

その結果、重要度が高く、満足度が低い**重点改善**となった項目は17項目となりました。

【重点改善となった17項目】

分 野	項 目 名	分 野	項 目 名
市民生活	① 交通安全や防犯などの安全対策	産 業	⑨ 商工業の振興
	② 女川原子力発電所の安全対策・情報公開		⑩ 観光の振興
	③ 災害発生時の応急・復旧対策 (ライフラインや食糧確保など)の構築		⑪ 企業誘致や新たな産業創出
	④ 公共交通ネットワークの整備		⑫ 販路拡大や人材確保など地元企業の育成
自然と都市	⑤ 歩道の整備	教 育	⑬ 柔軟な働き方ができる職場環境の整備
健康と福祉	⑥ 医療体制の充実		⑭ 教員の指導力の向上
	⑦ 地域福祉を担う人材の確保・育成	行財政	⑮ 学力向上への取組
	⑧ 地域での見守り体制・子育て機能の充実		⑯ 石巻市政の情報公開による透明性の確保
			⑰ 行政運営や財政運営の効率化



以上の結果から、後期基本計画において**重点的に取り組むべき施策**を以下の4つに整理し、激的な変化が続けている社会情勢や根強い地域課題に柔軟かつ的確に対応しながら、市政の革新的な発展と飛躍に向けて取り組んでいきます。

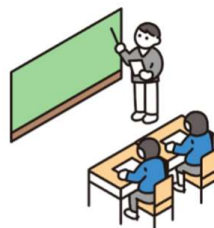
人口減少抑制



人口減少は、地域経済や市場規模の縮小、地域社会の担い手不足などの影響を与えることから、引き続き人口減少対策に取り組みます。

1

教育環境の充実



未来を担う子どもたちの生きる力を育むために、学力、体力、情操などバランスの取れた教育を充実させるほか、大人のリスキリング※を含めた学び直しの機会の確保など多様な教育環境の整備を進めます。

2

稼ぐ地域づくり

人口減少対策の推進力として、生活を支える働く場と収入の確保が不可欠であり、地域資源を活用した石巻ならではの産業のブランド化に取り組み、稼ぐ地域づくりを進めます。



3

安心して住み・働ける環境整備



誰もが快適に住み働ける環境を整備するため、生活に関わる機能の充実を図り、共生型社会の実現に向けたコミュニティ活動の活性化を推進します。

4

※：時代に合わせて新しく必要な知識や仕事のスキルを学び直すこと。

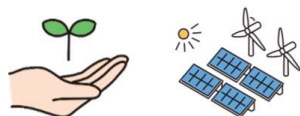
基本計画は、6つの分野(章)に係る基本目標を達成するための基本施策を定め、**49の重要目標達成指標(KGI)**と**52の重要業績評価指標(KPI)**を設定し、その達成状況を評価・検証することで、施策の進捗管理を行います。

1 地域コミュニティ



住民同士の絆・支え合いで
安全安心に暮らせるまち

2 生活基盤整備



都市と自然が調和し
快適とやすらぎが生まれるまち

3 健康福祉医療



共に支え合い誰もが生きがいを持ち
自分らしく健康に暮らせるまち

4 産業振興



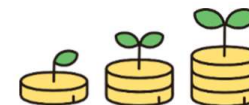
多彩な人材が活躍し
誇りと活気にあふれるまち

5 教育文化



豊かな心を育み
いのちを未来につなぐまち

6 行財政



市民の声が共鳴し
市民と行政が共に創るまち



重要目標達成指標(KGI)とは？

施策により目指す姿を定量的に評価するために設定する指標のこと。



重要業績評価指標(KPI)とは？

組織の目標達成の度合いを定量的に評価する補助として設定する指標のこと。

行政と市民ひとりひとりができることに取り組み
KPI(重要業績評価指標)が維持・向上する



市民満足度等を目標として設定した
KGI(重要目標達成指標)が達成される



各節に設定した目指す姿が実現され
“ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち”になる

将来像の実現に向け、各基本目標を達成するためには、市が行う施策の取組はもちろん、市民と共に進む力が必要になります。

この概要版では、主に**重点改善項目**(市民が求めているもの)に関連した内容を中心に、具体的にどのようなことを目標に掲げ、取り組んでいくのかを6つの分野(章)ごとに次のページからご説明します。



共生型社会の実現に向けた地域活動の充実、移住・定住の促進、**地域防災力の向上**、男女共同参画社会の推進、**持続可能な公共交通ネットワークの整備**、そして未来へ伝える震災伝承の推進を総合的に進めます。

さらに、これらの施策を連携させることで住民の生活利便性と安全性を高め、地域の魅力を高めて移住・定住を促しつつ、災害に強く持続可能なコミュニティ構築を目指します。

START

STEP 01 市民が求めているもの

- ✓ 交通安全や防犯などの安全対策
- ✓ 女川原子力発電所の安全対策・情報公開
- ✓ 災害発生時の応急・復旧対策
(ライフラインや食糧確保など)の構築
- ✓ 公共交通ネットワークの整備

5年後の目指す姿

- 💡 **自助・共助・公助の取組による災害に強い安全安心なまち**
地域防災力の向上、防災情報伝達手段の多重化を図ります
- 💡 **未来に向けた持続可能な公共交通サービスが実現するまち**
利用しやすく日常の移動手段として選ばれる公共交通を確立します

STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合

現状値
56.15%



71.00%

客観KGI

災害に備えて備蓄(飲料水・食糧)をしている家庭の割合

現状値
48.60%



70.00%

主観KGI

公共交通利用者の内、公共交通に満足している市民の割合

現状値
29.30%



50.00%

客観KGI

公共交通利用回数(市民1人当たり)

現状値
58.60回



63.05回

STEP 03 実現のため市が行うこと

地域で行う防災訓練や自主防災組織への支援、メール・SNSによる情報発信など防災に関する取組を推進します

住民バス等の運行支援を継続し、運賃体制の見直しなどの利便性向上を図ることで、地域住民の移動手段の充実を図ります

STEP 04 実現のため共にできること

- ✓ 防災について積極的に学び、子どもたちに防災の大切さを伝え、意識の醸成を図ることができます
- ✓ 自ら積極的に公共交通を活用することにより、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図ることができます

豊かな自然を守りながら生活環境を充実させ、持続可能な社会のためにごみ減量と資源循環を進めつつ、安全で安心な住環境と都市機能を整備しながら、総合的に都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまちの実現に向けて、生活基盤整備を推進します。

START

STEP 01 市民が求めているもの

- ✓ 歩道の整備
- ✓ 脱炭素型のまちづくり

令和6年2月15日
ゼロカーボンシティを表明



ゼロカーボンシティとは？

二酸化炭素の排出量と吸収量がプラスマイナスゼロの状態である都市を指し、石巻市では2050年までに実現を目指しています。



5年後の目指す姿



誰もが安心・快適に住み続けられるまち

住みよいまちづくりを推進します



地球環境を守る脱炭素のまち

自然環境を保全し、再生可能エネルギーの利用を促進します



STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

都市環境が充実し、暮らしやすいと感じる市民の割合

現状値

36.43%

➡ 44.18%

道路や歩道、下水道、公園など様々なハード整備を計画的に進めることで、暮らしやすいと感じる市民の増加につなげます。

主観KGI

多くの自然や生物に恵まれていると思う市民の割合

現状値

76.34%

➡ 84.67%

客観KGI

年間CO2排出量(家庭部門)

現状値 185.00千t-CO₂

➡ 133.50千t-CO₂

STEP 03 実現のため市が行うこと

歩道などのインフラ整備と併せて、木造住宅の耐震化支援や危険なブロック塀の除去を支援し、住みよいまちづくりを推進します

自然の保全活動や再生可能エネルギーの導入支援に加え、ごみの分別や再資源化を促進し、循環型社会への移行を目指します

STEP 04 実現のため共にできること

- ✓ 地域の散策などを通じて地域の実情を知り、新たな住民に対し地域の情報を積極的に伝えていくことができます
- ✓ 自然環境を学ぶ講座などに参加し、地球温暖化に関する知識を深め、環境保全に努めることができます

安心して妊娠・出産・子育てができる環境、高齢者福祉及び障害福祉の充実を図りつつ、**誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりや医療体制を推進**し、それらを基盤に**みんなが支え合う地域共生社会**を実現するために、予防や早期支援を含む心身の健康づくりや地域の多様なニーズに対応する包括的な支援体制を構築することで、地域全体の相互の助け合いと連携を促進します。

START

STEP 01 市民が求めているもの

- ✓ 医療体制の充実
- ✓ 地域福祉を担う人材の確保・育成
- ✓ 地域での見守り体制・子育て機能の充実

5年後の目指す姿



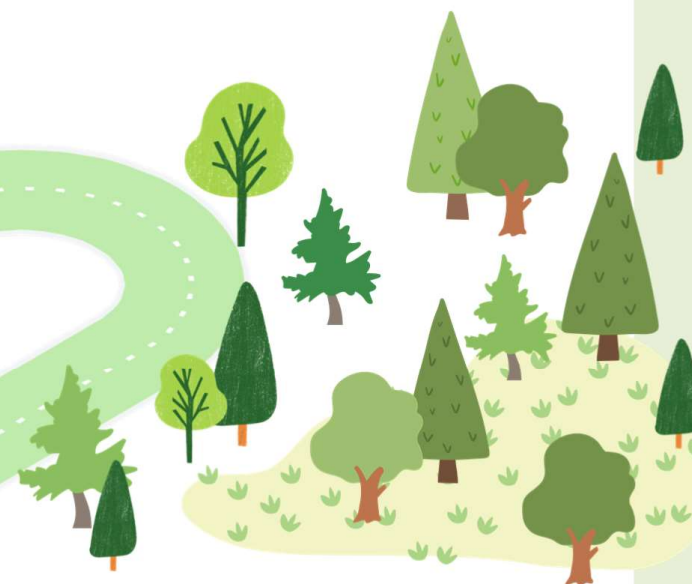
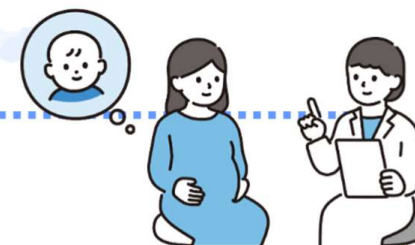
健康で笑顔があふれるまち

心と体の健康づくりを推進し、地域医療提供体制の充実を図ります



いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合うまち

地域におけるつながりを創出し、暮らしを支える体制を整備します



STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合

客観KGI

健康寿命

現状値

36.26%

➤ 50.26%

現状値

男性:79.30歳

女性:83.76歳

男性:79.86歳

➤ 女性:84.11歳

主観KGI

地域で支え合いが行われていると感じる市民の割合

現状値

44.00%

➤ 63.45%

全ての市民が安心して暮らせる地域共生社会を実現することで、支え合いが行われていると感じる市民の増加につなげます。

STEP 03 実現のため市が行うこと

健康づくりに関する取組や各種検診が受診しやすい環境整備、休日・夜間を含めた地域の医療体制の確保を推進します

送迎・買い物・見守り・交流など地域の支え合い活動に対する支援や、医療・介護・福祉に係る人材確保に努めます

STEP 04 実現のため共にできること

- ✓ 定期的な検診や適度な運動を習慣化し、健康に対する関心を高めることで、健康づくりに努めることができます
- ✓ 地域間交流の中で地域活動の良い点を学び、世代を問わず交流ができる地域づくりに努めることができます

地域の特性を踏まえた産業連携や付加価値向上、販路拡大・ブランド化など**商工業の振興**に努め、それらの地域資源と一体化した**観光事業の創出**を図り、これらを支えるための**企業誘致**や**産業創出**を進め、未来の産業を担う**人材の確保と育成**を行います。さらに、これらの施策を連携させることで、産業を主軸とした多彩な人材が活躍できるよう**働きやすい環境を整備**し、誇りと活気にあふれるまちを目指します。

START

STEP 01 市民が求めているもの

- ✓ 商工業の振興
- ✓ 観光の振興
- ✓ 企業誘致や新たな産業創出
- ✓ 販路拡大や人材確保など地元企業の育成
- ✓ 柔軟な働き方ができる職場環境の整備

5年後の目指す姿



地域資源を活かした観光事業の振興が図られるまち

地域資源を活用した観光振興を図ります



自分らしい生き方ができて、生産性が向上し、稼ぐ力のあるまち

企業立地や新規創業、第二創業を促進します

STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

地域資源を活かした観光業が充実していると感じる市民の割合

現状値

27.14%



33.26%

客観KGI

観光客入込数による経済波及効果額

現状値 36,458百万円



40,263百万円

主観KGI

新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合

現状値

11.15%



18.65%

客観KGI

市の事業により創出された雇用人数

現状値

企業立地:74人/年

新規創業:18人/年

企業立地:135人

新規創業:95人

STEP 03 実現のため市が行うこと

地域の魅力的な観光資源を活かしたイベントの開催に取り組み、周遊型から滞在型への観光スタイルの変換を促進します

企業立地に伴う地元雇用促進や地域資源を活用した新たな産業化推進、新規創業者に対する各種支援を行います

STEP 04 実現のため共にできること

- ✓ 地域資源を活用した各種イベントなどに積極的に参加することで、誇りと愛着を持って地域の魅力発信ができます
- ✓ 市内企業の製造品やサービスを積極的に活用することで地場産業を活性化させることができます

安全で安心な教育環境を整備し、子どもたちの社会を生き抜く力を養うため、**教員の指導力及び児童生徒の学力向上**や命を守る防災教育の充実を図り、地域と連携して子どもと学び、生涯学習・スポーツ活動を推進することで、防災力を含めた社会的能力を備えた市民を育み、学びの機会が生涯にわたって確保され健康で活発な市民生活が営まれるまちを目指します。

START

STEP 01 市民が求めているもの

- ✓ 教員の指導力の向上
- ✓ 学力向上への取組



リベラルアーツとは？

思考力と判断力を養い、知的能力の発展を目標として実施する教育のことを指し、石巻市ではタブレット端末を活用したデジタル思考ツールを導入することで思考力の向上を図るほか、年2回実施する標準学力調査の分析結果を授業改善に反映させることで、教員の指導力の向上に取り組んでいます。

教育環境の充実のため
市で取り組んでいます

5年後の目指す姿



社会の変化に主体的に対応し、自ら考えて判断・行動する
「社会を生き抜く力」を持った人を育成するまち

学校教育の充実により学力向上、児童生徒の豊かな心の育成を
図ります

STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

「学校に行くのは楽しい」と思う
児童生徒の割合

客観KGI

全国学力・学習状況調査正答率
が全国平均以上の学校の割合

現状値

92.40%



99.00%

現状値

33.00%



48.00%



石巻市学力向上プランの実施

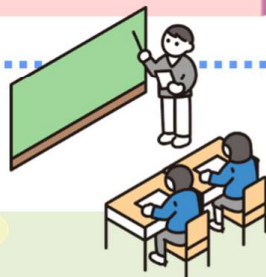
学習意欲の向上のため、「マルチレベルアプローチ理論」に基づいた小中連携による実践を進めることで、児童生徒のやる気や自信を育みつつ、授業力の向上や基本的な生活習慣の確立を実現し、学力向上に向けた教育活動の改善と充実を目指します。

目指す姿の実現のため
市で取り組んでいます

STEP 03 実現のため市が行うこと

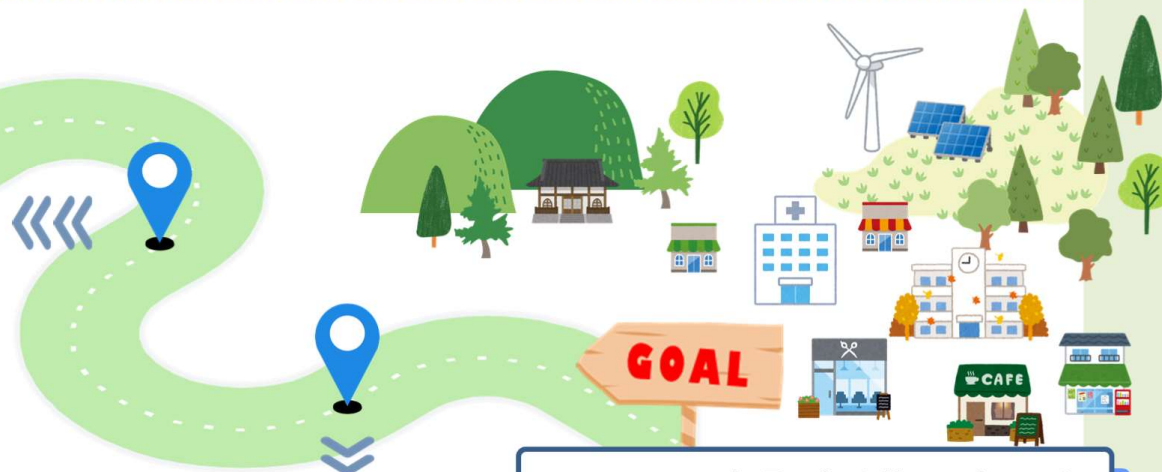
自ら考えて判断・行動する力を育成するため、校外学習等を含めた主体的な活動意欲を育む事業を推進します

デジタル技術の活用を推進しながら、子どもたち一人一人のニーズに合ったきめ細やかな教育を推進します



STEP 04 実現のため共にできること

- ✓ 家庭内で積極的に学校生活に係る会話などを行うことで、子どもたちの心の安定を図ることができます
- ✓ 地域住民同士が協力し、子どもたちの成長に協力できる地域づくりを進めることができます



市民の生活や声に寄り添い信頼を築く行政運営の推進と、将来世代に負担を残さない持続可能な行財政運営を両立し、効率的な予算配分や透明性の高い説明責任を果たすことで、市民と行政が共に創るまちの実現を目指します。

START

STEP 01 市民が求めているの

- ✓ 石巻市政の情報公開による透明性の確保
- ✓ 行政運営や財政運営の効率化

デジタル技術を積極的に活用します

DX(デジタル・トランスフォーメーション)の加速

市民の利便性向上や行政の業務改善を図るため、国の構想に基づき「自治体DX」が急速に発展しています。石巻市でも、行政手続のオンライン化やAIを活用した事務の効率化など、積極的に取り組んでいきます。

5年後の目指す姿

💡 市の行政運営が市民に信頼されているまち

市民と市の相互理解を深め、市民サービスの利便性の向上を図ります

💡 人口規模及び歳入規模に見合った行財政運営が推進されているまち

健全で持続可能な財政運営と効率的かつ効果的な行政運営を実施します

STEP 02 目指す姿を実現するための目標

主観KGI

信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合

客観KGI

市民意識調査の回答率

現状値

33.61%



40.00%

現状値

34.50%



37.50%

主観KGI

効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合

客観KGI

経常収支比率

現状値

32.53%



49.62%

現状値

99.80%



97.20%

STEP 03 実現のため市が行うこと

まちづくり懇談会や動く市長室など市民の声が市政運営に活かされる広聴事業を推進します

限られた人材や財源などを有効活用した業務の推進や行政サービスの効率化を図り、適正な行財政運営に努めます

STEP 04 実現のため共にできること

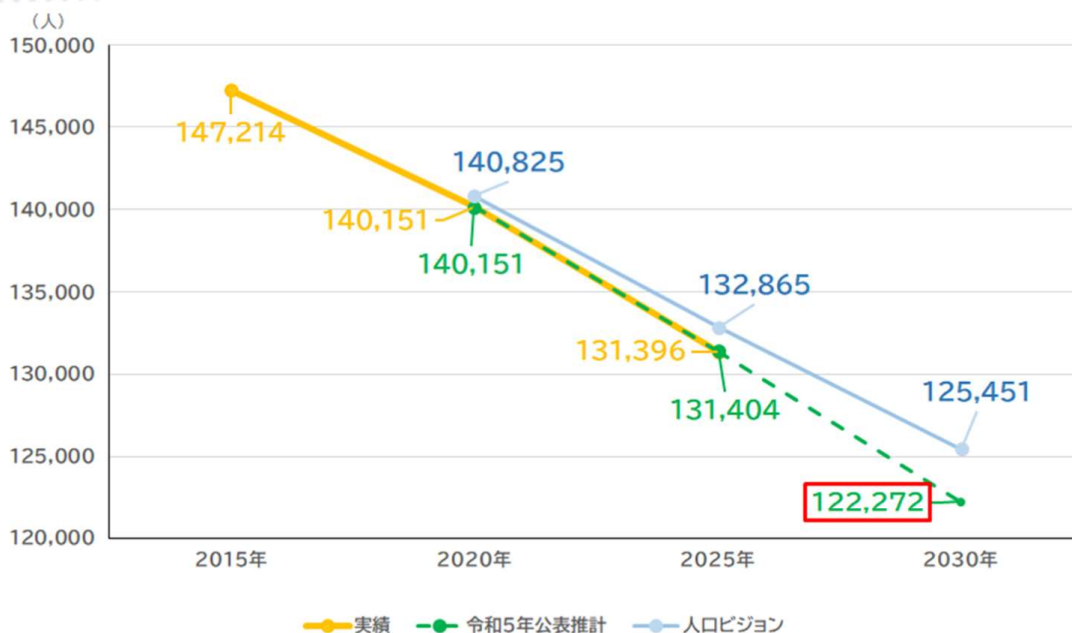
- ✓ 市政情報を積極的に確認しながら、地域の情報を市に伝えることで、相互理解を深めることができます
- ✓ 公共施設の利用時に、省エネを心がけ大切に利用することで、管理費を節減することができます



人口フレームとは？

将来人口のおおむねの推計値の枠組みのこと。石巻市では令和3年9月に策定した人口ビジョンにおいて、2060年の人口目標を9万4千人としていました。

2025年4月末における石巻市の人口が13万1,396人となり、人口減少が止まらない状況となっています。国において人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止め、人口規模が減少しても経済成長を続け、社会を機能させる適応策を講じていくという基本的な考え方が示されたことを受け、2030年までの**人口フレーム**を人口ビジョンの目標値である12万5,451人から**国立社会保障人口問題研究所**の令和5年推計の2030年推計値である**12万2,272人**に見直し、現状に即した人口減少対策に取り組んでいきます。



国立社会保障人口問題研究所とは？

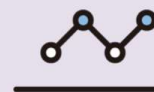
厚生省人口問題研究所と社会保障研究所が統合され、1996年12月に設立された研究機関であり、出生率と死亡率の低下、人口減少といった状況に、社会保障、関連制度をどのように対応させるのか、研究・調査を実施しています。

全国的な少子高齢化・人口減少の流れに加え、東日本大震災による人口流出という二つの人口減少が重なる危機的状況に直面した石巻市では、これまで復旧・復興に向けたまちづくりに取り組んできましたが、今後も人口減少に歯止めがかからない状況が想定されています。

人口減少を正面から受け止め、デジタル技術の活用を図りながら、前期基本計画に引き続き、個々の施策成果の積み重ねを着実に把握・評価し、次の効果的な取組につなげ、継続性をもってアプローチするため、取り組むべき社会課題を以下の4つに整理しました。



4つの社会課題への対応を推進



対応方針1

安定した雇用を
創出し稼ぐ
まちをつくる

対応方針2

絆を大切にし
人が集まる
まちをつくる

対応方針3

結婚・妊娠・出産・
子育ての希望が
かなうまちをつくる

対応方針4

災害に強く安全安心
に暮らせる魅力的な
まちをつくる

これらの課題を克服し、将来にわたって活力ある地域社会の実現に向けた地方創生の取組をより一層効果的に推進するため、総合計画の中に「**人口戦略**」を位置づけ、関連する施策を分野横断的に一体化しながら推進していきます。



対応方針1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる

KGI

市の事業により創出された
就業者の5年定着率



目指す方向性

地域産業の強化と魅力ある
産業づくりや、担い手不足
の解消に取り組み、誰もが
働きやすい環境づくりを
目指します

現状値 企業立地:96.80%
新規創業:52.94%
水産業:66.70%
農業:52.00%



企業立地:97.00%
新規創業:72.96%
水産業:76.90%
農業:52.00%

施策の展開

- ✓ 地域産業の競争力を強化します
- ✓ 専門人材を確保・育成します
- ✓ 働きやすい魅力的な環境を整備します



対応方針2 絆を大切にしが集まるまちをつくる

KGI

社会増減率

現状値

-0.51%



-0.16%



目指す方向性

関係人口から移住者へつな
がる取組や地域への愛着を
育む取組を推進し、「石巻市
に住みたい」と思える地域
づくりを目指します

施策の展開

- ✓ 地方移住・移転の推進を図ります
- ✓ 若者の地元定着の推進を図ります
- ✓ 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図ります
- ✓ 地方への資金の流れの創出・拡大を図ります



対応方針3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる

KGI 合計特殊出生率

現状値
1.09人 ➡ **1.09人**

KGI 15歳～49歳年度末女性人口

現状値
21,678人 ➡ **20,171人**

目指す方向性

経済的負担の軽減や、家庭内で支え合うライフスタイル形成に向けた取組を推進し、子育ての希望がかなう地域づくりを目指します

施策の展開

- ✓ 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進します
- ✓ 子育て支援の充実を図ります
- ✓ 学校教育の充実を図ります
- ✓ 仕事と子育ての両立を図ります



対応方針4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる

KGI 住み続けたいと思う市民の割合

現状値
72.32% ➡ **79.32%**

KGI 地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合

現状値
56.15% ➡ **71.00%**

目指す方向性

豊かな地域資源を活かした新たな魅力創出や防災環境の整備により、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します

施策の展開

- ✓ 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図ります
- ✓ 資源を活かした地域の魅力づくりを推進します
- ✓ 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図ります
- ✓ 災害に強いまちづくりを推進します



石巻市は平成17年4月1日に1市6町が合併し、**本庁及び6つの総合支所**の体制でスタートしました。これからも各々の地区の特性を活かしながら、個性を持ったまとまりのある地区として発展するため、各地区の現状を把握し、市全体の調和に配慮しつつも、それぞれ固有の課題を解決しながら、将来の目指す地区の姿を実現するため、地区別将来展望を策定しました。

河北地区

- ✓ 地域コミュニティの活性化
- ✓ 農林漁業の振興と担い手確保
- ✓ 上品の郷による地域活性化

桃生地区

- ✓ 地域コミュニティの活性化
- ✓ 農業振興と担い手確保
- ✓ スポーツ施設を利用した地域活性化

河南地区

- ✓ 公共施設の利活用による地域の活性化
- ✓ 都市機能整備の推進
- ✓ 農業の振興と担い手確保

石巻地区

- ✓ 移住定住の促進
- ✓ 中心市街地の活性化
- ✓ 水産業の活性化
- ✓ 企業誘致の推進

北上地区

- ✓ 地域コミュニティの活性化
- ✓ 農林水産業の振興と担い手確保
- ✓ 自然環境の利活用

雄勝地区

- ✓ 水産業の振興と担い手確保
- ✓ 雄勝石の活用による地域活性化
- ✓ 硯上の里おがつによるにぎわい創出

牡鹿地区

- ✓ 地域コミュニティの存続
- ✓ 各種ツーリズムによる観光促進
- ✓ 水産業の振興と担い手確保



石巻市では施策の評価・検証を毎年度実施し、見直しを踏まえた実施事業の企画・検討に反映することで、適切な予算の策定と効果的な業務改善へつなげています。後期基本計画では、**KGI**と**KPI**の論理的な因果関係を**ロジックモデル**を活用することで、施策の効果を分かりやすく整理しました。

今回策定した後期基本計画の概要版を手がかりとして、石巻市の将来像「ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち」を実現するために、「行政が何をしているのか」を市民に分かりやすく伝え、「市民ができること」を一緒に考えるための対話のツールとして活用していきます。



ロジックモデルとは？

事業や計画が最終的な目標を達成するまでの課題を体系的に整理し、解決すべきポイントを明確に表す手法です。

この手法を取り入れることで、施策がどのような成果を上げているのか、EBPM(合理的な根拠に基づく政策立案とその効果検証)の考え方により、分かりやすく可視化することができます。



第2次石巻市総合計画基本計画
(後期)の本編は市ホームページ
でご確認いただけます。



第2次 石巻市総合計画基本計画(後期) 概要版

令和8年(2026)9月発行
発行者 宮城県石巻市
企画・編集 企画部政策企画課

〒986-8501 石巻市穀町14番1号
TEL 0225-95-1111
ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/>



ひとりひとりが 多彩に煌めき 共に歩むまち

